



2022年 5月11日
第204号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集情宣担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



ゴールデンウィーク輸送お疲れ様でした！ 新幹線・在来線のご利用状況は、対前年217% (297.1万人)

ゴールデンウィークにおける安全・安定輸送の確保、大変お疲れ様でした！

組合員の皆さんが職場で実感しているように、ゴールデンウィーク輸送期間(4月28日～5月8日)のお客さまのご利用状況は、対前年比で217%と好調でした！

【新幹線・在来線のご利用状況】



	本年	前年	前年比	2018年	2018年比
下り	149.5万人	69.2万人	216%	216.4万人	69%
上り	147.6万人	67.8万人	218%	217.1万人	68%
計	297.1万人	137.0万人	217%	433.4万人	69%

※JR 東日本ニュースリリースより

【各線区のご利用状況(上下)】

	本年	前年	前年比	2018年	2018年比
総武・成田線(成田エクスプレス)	2.8万人	0.5万人	575%	16.3万人	17%
東海道本線(踊り子等)	8.2万人	5.3万人	156%	8.4万人	98%

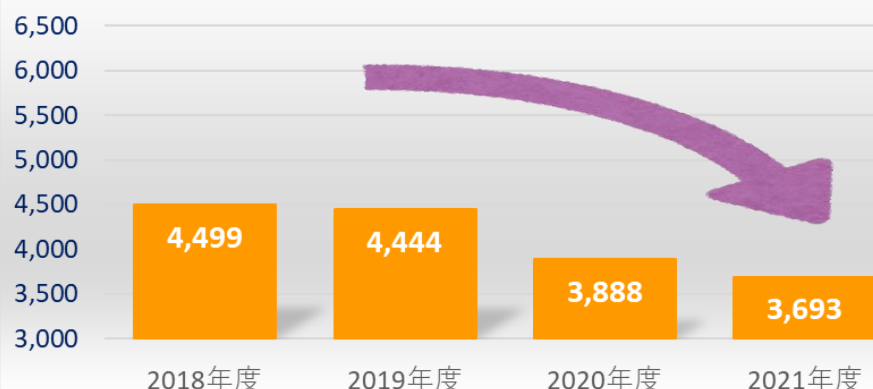
※JR 東日本ニュースリリースより

「復活の年」は人への投資！2022夏季手当は満額回答を！

設備投資額 (億円)



人件費 (億円)



※JR 東日本ニュースリリースより JR 東日本単体の設備投資額と人件費の推移

4月27日、深澤社長は「社員の皆さんへ」で「今年は復活の年」とメッセージを發しました。ゴールデンウィーク輸送のご利用状況からもウィズコロナへ、そしてポストコロナへの兆しが伺えます。「復活の年」であるならば、私たちは「設備」への投資だけでなく、人への「投資」を強く求めなくてはなりません！

2022年度夏季手当の要求満額実現をめざし、全組合員でたたかいをつくり出そう！！



全組合員総対話行動での賃金議論を基礎に 2022年度夏季手当のたたかいを創造的につくり出そう！